

**[禁止事項]**

- 1・空発振禁止……………洗浄液がないときは、発振させないで下さい。
- 2・酸系統の洗剤使用禁止…洗剤は中性、又は 弱アルカリ性をご使用下さい。
- 3・高温洗浄液の使用禁止…50℃以上のお湯を使用しないで下さい。
- 4・衝撃禁止……………水槽底部に衝撃を与えないで下さい。
- 5・多湿場所への設置禁止…排水溝や流し台の中などに設置しないで下さい。
- 6・操作部への水掛り禁止…操作部へ水が掛かったときは都度ふき取って下さい。
- 7・器械の丸洗い禁止……………器械本体を水洗いしないで下さい。

**保証書**

1年

お客様保管用

製品名 超音波ピペット洗浄器

型 式 FU-106CR 製造番号

この度は弊社製品をご購入いただき誠にありがとうございます。  
弊社では最新の検査設備、品質管理体制を整え万全を期しておりますが、  
万一この保証書が示す期間中に、通常のご使用にもかかわらず故障した  
場合は別記の条件に従い無償修理致します。

無償修理ご依頼の場合、この保証書もしくはコピーを販売店にご提示ください。

(保証書を紛失された場合は、無償修理をお受けできません)



**東京硝子器械株式会社** ☎ 0120-393913

東京・大阪・名古屋・札幌・福岡・仙台

<http://www.tgk.co.jp>

記

- ①保証期間は、ご購入より適用されます。
- ②次の事柄は、保証対象外となります。  
運送事故・火災、地震、天災による故障及び損傷、使用方法の誤りによる故障、お客様による分解、修理、改造による故障、消耗品の交換、異電圧の投入、薬品による侵食、ワーク物の発火、特型など仕様書に記載されております適用範囲外の項目。

**Fine**

**超音波ピペット洗浄器**

**FU-106CR**

**取扱説明書**

**[警告事項]**

- 1・水を使用する器械です。必ずアース接地を行なって下さい。
- 2・器械内部は高圧部品があります。分解等行なわないで下さい。

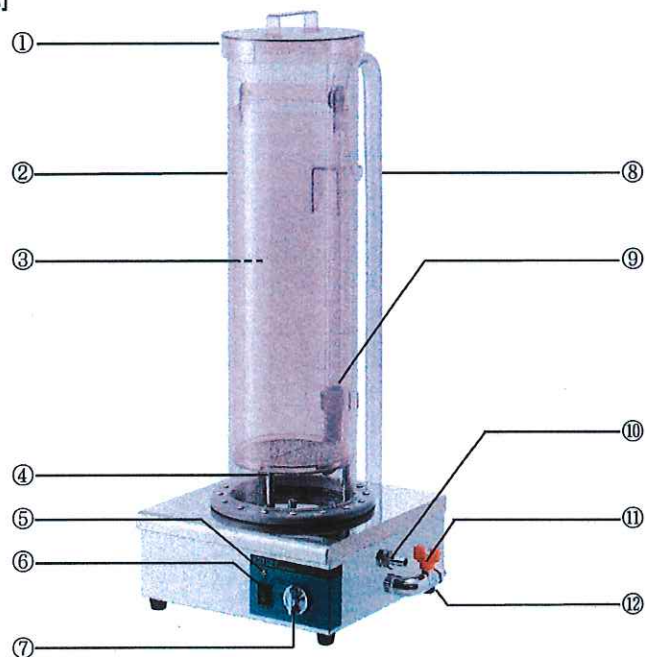
**[取扱注意事項]**

- 1・円筒水槽内に 20 cm程度まで水を入れてから、内カゴを沈めて下さい。
- 2・内カゴを円筒水槽に沈めるときは、ゆっくり行なって下さい。
- 3・内カゴはバネ付カゴ受架台に乗るまで、内カゴから手を離さないで下さい。  
\*内カゴを落とし込むと、万一、強い衝撃となった場合に内カゴの破損  
(ヒビ割れ等の発生) 原因となる場合があります。

このたびは、弊社製品の超音波ピペット洗浄器をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。

この製品はピペット、ガラス管等の洗浄、すすぎに超音波の力を応用した製品です。ご使用前に取扱説明書を熟読頂き、正しくご使用下さいますようお願い致します。なお、ご不明な点がございましたらお問合せ下さい。

**【各部名称】**



①	蓋	⑦	タイマースイッチ
②	円筒水槽	⑧	サイフォン管
③	洗浄カゴ (ラック)	⑨	サイフォン管受部(高さ調整部)
④	バネ脚付きカゴ受架台	⑩	給水受口
⑤	電源ランプ	⑪	排水バルブ
⑥	電源スイッチ	⑫	電源コード (3P プラグ付)

**【付属品】** ・給水ホース ・排水ホース (サイフォン管用・残留水排水用)

**【準備】**

- 1・円筒水槽のサイフォン管受部のネジを緩めてサイフォン管を差込み、サイフォン管の高さを決めて取付ネジを締めて下さい。(サイフォン管の高さは、円筒水槽正面上部に貼付してあるシール記載内容をご参照下さい。)
- 2・水道蛇口と器械の給水受口を付属の給水ホースで接続して下さい。
- 3・排水バルブに排水ホースを差込み、バルブツマミを「閉」の位置にして下さい。
- 4・電源コードのプラグを電源コンセント (AC100V) に差し込みます。

**【洗浄】**

- 1・水、又は、お湯 (50℃以下) を円筒水槽底面より 20 cm位まで入れて下さい。
- 2・内カゴ(ラック)の中に洗浄物(ピペット、ガラス管等)を入れ、円筒水槽の中に沈めて下さい。(このとき、内カゴが水槽内のカゴ受架台に達するまで手を離さないで下さい。)
- 3・洗剤を汚れに応じて入れ、再び給水して液量を規定量に調整して下さい。  
\* 液量は、円筒水槽上面約 7 cm 下の水位位置で、AU-106CR は約 100、AU-156CR は、約 150、AU-176CR は約 180です。洗剤投入量の算出基準にして下さい。
- 4・タイマーを希望時間 (最大で 15 分) に合わせて下さい。  
超音波発振して洗浄が始まります。

**【すすぎ】**

- 1・給水を始めると水槽底面に取付けた噴流ノズルより水槽内へ散水開始します。サイフォンの作動状況を確認しながら給水の流量を調節して下さい。給水量が多いと水槽より溢れてしまうか、水位が上昇下降せずに停留します。給水量が少ないと水位の上昇が遅く、サイフォンが作動しなくなります。
- 2・すすぎ水が円筒水槽内一杯となりサイフォン作用で排水する行程を約 6~10 回程度行なって下さい。すすぎ行程中に超音波を発振させれば細部まですすぎが行き渡り、すすぎの効率上昇とともに精密なすすぎ作業となります。
- 3・全ての作業が終了後、サイフォンにより抜けきらなかった円筒水槽内の残留水は、排水ボールバルブを開いて排水して下さい。